

## 令和5年度 第5回公立鳥取環境大学教育研究審議会 議事要旨

- 日 時 令和6年3月7日(木) 10:00~11:40
- 場 所 本部講義棟3階 大会議室(対面会議)
- 出席者 江崎信芳委員、宇佐美誠委員、田中仁成委員、山口武視委員、小林朋道委員、遠藤由美子委員、矢野委員、吉田高文委員、今井正和委員  
[9名/12名]
- 欠席者 足羽英樹委員、尾室高志委員、片木威委員

### 【議事】

#### 1 前回議事要旨の確認

原案のとおり承認された。

#### 2 審議事項

##### (1) 学長戦略企画会議の設置について

事務局から学長戦略企画会議の設置について説明があり、原案について承認された。

〈主な意見等〉

- ・ 学長戦略企画会議の中で3つのプロジェクトチームを検討しているようであるが、時期によって増えたりとか統合して行ったりするのか。イメージ図の中で、プロジェクトチームの横に既存の委員会とあるが、現在もそこで懸案事項の相談とか戦略を練ったりとかしていると思うが、業務の役割の違いとか、相互の関係はどうなっているのか。良い形で既存の会議と融合して戦略会議にふさわしい方針を策定していただきたい。  
→プロジェクトチームは、この3つでスタートするが、増えていくと思う。既存委員会との関係は、大体は構成員が委員長を兼ねているので、内容を掌握して進めていく予定。各種委員会代表者の方に課題・意見を聞いて、議論を進め方向性を出していく。
- ・ 人材戦略については、必ずしも教員に限らず、戦略的な人事であるとか、さらには部署を作るようなこともありうる。例えば競争的外部資金を効果的に取ってくるためにサポートをするチームを作るとか、日本の大学では難しいかもしれないが海外では、ファンドレイジングの為に人材を取ってくるとかチームを作るとかいろいろなことが行われている。そういった必ずしも教員に限らない人材ということも、今後考えられるのかと思う。  
→教職員、特に職員は、経営意識を持って、みんなが経営者だという意識で取り組んでほしい。また、窓口で学生対応を行う職員は、実際には教育者的な面もある。経営者であり、教育者である認識をみんなが持つようにしっかりと人材育成をしていきたい。委員ご指摘のように最終的には持って行きたいが、まずは経営者、教育者の意識をしっかり持っていきたい。

##### (2) 名誉教授の称号授与について

事務局から名誉教授の称号授与について説明があり、原案について承認された。

#### 3 報告事項

##### (1) 公立大学法人公立鳥取環境大学第3期中期計画の認可について

事務局から、公立大学法人公立鳥取環境大学第3期中期計画の認可について報告があった。

- (2) 令和6年度公立大学法人公立鳥取環境大学役員体制について  
副理事長から、令和6年度公立大学法人公立鳥取環境大学役員体制について報告があった。
- (3) 令和5年度予算の補正について  
事務局から、令和5年度予算の補正について報告があった。
- (4) 令和6年度当初予算について  
事務局から、令和6年度当初予算について報告があった。
- (5) 年度計画廃止に伴う諸規程の改正について  
事務局から、年度計画廃止に伴う諸規程の改正について報告があった。
- (6) 公立大学法人公立鳥取環境大学職員給与規程等の一部改正について  
事務局から、公立大学法人公立鳥取環境大学職員給与規程等の一部改正について報告があった。
- (7) 教員の採用・昇任について  
事務局から、教員の採用・昇任について報告があった。
- (8) 令和6年度教学体制について  
副学長から、令和6年度教学体制について報告があった。
- (9) 成績評価異議申立てに関する規程の制定について  
事務局から、成績評価異議申立てに関する規程の制定について報告があった。  
〈主な意見等〉
- ・ 一つのやり方として、疑義がある場合は、教員と直接コンタクトを取らないで、必ず事務を通して行う方法もある。それは、直接交渉させないということ。特に最近は重要で SNS など「この先生は交渉できるんだ」ということが広まると問題がある。また、教員が勝手に回答して、事務経由で学生に伝えることをしない場合、その回答が適切であったか判断することをやっている。十分な理由なく確定した点数を変えると「この先生に言うとなえてもらえそうだ」ということを SNS で発信されると困るということ。
- (10) 近況報告  
事務局から近況報告があった。

## 5 その他

## 6 閉会